



「より充実した事後研究会に」

高知市立小中学校2年経験者研修(教諭) 平成24年7月27日(金)実施

こんな事後研究会はありませんか？

- 事後研究のねらい、協議のテーマがはっきりせず、話し合いが深まらない。
- 授業者に遠慮があり、発言しにくい。
- ベテラン教員の発言した後では、若い教員が発言しにくい。
- 発言する人が限られている。
- 協議時間が感想に終始する。
- 専門外の教科のことは意見を出しにくいと考えている。

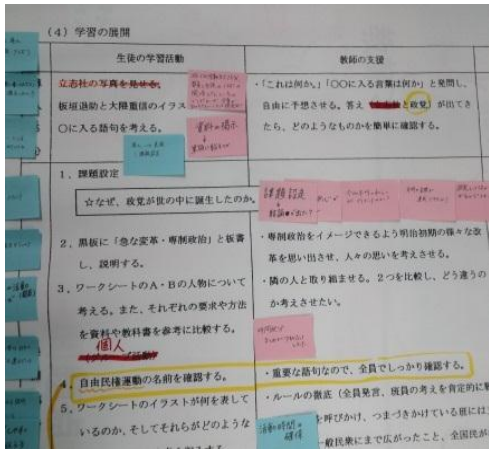
今後の教員養成・免許制度の在り方について(答申)
中央教育審議会(平成18年7月11日)

各学校においては、魅力ある職場づくりを進めるため、**教員同士が学び合い、高め合っていくという同僚性**や学校文化を形成することが必要である。このため、個々の教員の能力向上だけでなく、**学校におけるチームワークを重視し、全体的なレベルアップを図るという観点から、校内研修の充実**に努める必要がある。

ワークショップを活用した事後研究会に



(1) 拡大指導案



【特徴】

- ・ 授業者が作成した指導案(本時の部分)を拡大する。
- ・ 授業の流れに沿って、どの段階で、どのようなつまづきがあったのか、あるいは効果があったのかを分析する。

(2) 概念化シート



【特徴】

- ・ 縦横2軸に仕切ったワークシートを使用する。
- ・ 横軸には、教師あるいは子どもの視点で、縦軸にはよかった点・工夫されていた点あるいは問題点・気になっていた点を位置づける。

(3) マトリクス法



【特徴】

- ・ 横はテーマ(例えば研究テーマや参観の視点など)、縦は成果と課題の2つの視点から分析する。
- ・ 分析後、課題解決のためのアイデア(手立て)を考えていく。



受講者は、校種別に分かれ、授業ビデオを視聴した後、各グループでワークショップを活用した事後研究会を行った。

どのグループにおいても、役割分担や時間配分がしっかりとなされ、活発な意見交流ができていた。

その後、グループ毎に全体発表をしたが、課題に対しては具体的な改善策も出された発表であり、活発な意見交流がみられた。

<受講者の感想>



- ・ 拡大指導案を使って行ったが、全員で意見を出し合い、改善の方向性を導き出そうとするなかで、みんなで一つのことをやり遂げる充実感があった。
- ・ 問題点や気になった点を出し合うだけでなく、その解決のためにはどうすればよいのか話し合うことができ、授業者だけでなく、参加者全員が授業について考えることのできる、この事後研究会のやり方はとても良いと思った。

ワークショップを活用した事後研究会により、

- ・ 「**同僚性**」が構築される。
- ・ 一人ひとりが参加したという「**充実感**」がもてる。
- ・ 成果と課題、改善策が「**視覚的**」に明らかになる
- ・ **一定の時間内**で、成果を生み出すことができる
- ・ 授業を**多面的**に見るようになる。



TBLで授業改善

(TBL : Team-Based Learning) チーム基盤型学習

チーム協働研修Ⅱ

(初任者研修・10年経験者研修合同開催)

平成24年8月2日(木)実施

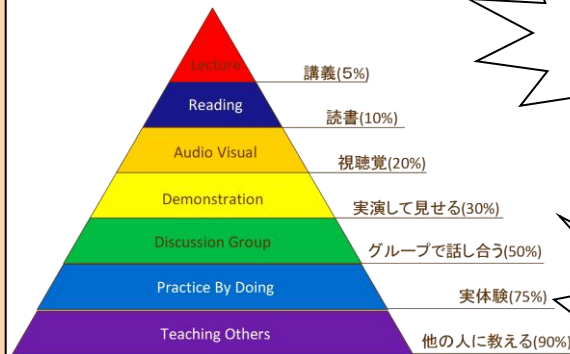
<今の教育に求められるもの>

生きる力
多様性
意欲、創造性
個性、個性
個性
個性
ネットワーク形成力、交渉力

「教えるだけの授業」
になっていませんか？

子どもたちにこれらの力をつけていくために
日頃の授業を見直していきましょう。

学習定着率「Learning Pyramid」



講義では
定着率
たった 5%

他の人に
教えることで
90%に！

TBLには…グループをチームへと成長させるしかけが、組み込まれている

TBLと通常のグループ
学習の違いは？

グループは単なる集団。
それに対してチームとは、同じ目標を達成するためにメンバーが結束したものの
チームになると、グループワークの生産性（学習効果）が飛躍的に向上

TBLの体験

1. グループ分け
2. 個人テスト
4択問題に挑戦
3. グループテスト
○グループで解答を決定
○多数決はダメ
○根拠を主張
○合意を図る
4. スクラッチカードで答え合わせ

問題 『コミュニケーションについて』

話し合いがうまくいかないときの大きな原因の一つを選んでください。

- a. 興味や関心がバラバラで話題が一致しないときだ。
- b. お互いに相手の発言に対して評価的・批判的になりやすいときだ。
- c. 性格や考え方が違いお互いに意見が食い違うときだ。
- d. すぐ感情的になってそれを表面に出す人がいるときだ。

(テストの例)

TBLは…

知識獲得に優れた手法

なぜなら チーム内で解答を決定するために根拠を主張しなければいけない。

その結果 チームでコミュニケーションすることで、
発信力、根拠、表現力、論理的思考、傾聴力、
評価的思考、コメント力、大きな声で話す…

等の力がつきます！

「教員が何を教えたか」ではなく「子どもが何をできるようになったか」

<受講者の感想>

- ・ TBLを体験してみると、相手に何とかして伝えようとする、そのためによく考える、相手の話をよく聞く、グループでよく考えだした答えなので記憶に残るということを実感した。現代の教育に求められる力が自然と発揮され育成される学習形態だと感じた。
- ・ TBLをはじめて知り、実際に体験して非常におもしろかった。もっとやりたかったなど大人でも思える学習方法ですごいと感じる。(中略)
今、目の前にいる子どもたちに必要とされることは何なのか、日々考えながら実践していきたい。また今日感じた討論することの楽しさを子どもたちに伝えられるような授業もしてみたい。

